

2023年4月1日

大阪急性期・総合医療センター小児科・新生児科では、以下の臨床研究を行っております。
この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

ウイルス感染症(急性脳症等)患者におけるウイルスの全身臓器への影響の検討

[研究代表責任者名・所属]

大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科 小垣 滋豊

[研究の目的]

急性期感染症後の脳等の臓器におけるウイルスの影響を検討する。

[研究の対象]

1990年1月1日から2020年12月31日までの間に大阪急性期・総合医療センターに入院し、急性脳症もしくは急性ウイルス感染症で亡くなられ病理解剖された方

[研究期間]

承認後～2024年3月31日まで

[研究の方法]

病理検体を用いて、ウイルスや、関連する物質に関する検討を行います。またその結果を下記の情報と照らし合わせ、新たな診断、治療方法への開発につなげます。

[試料・情報の他機関への提供および提供方法]

病理標本検体は匿名化された状態で、一部が医薬基盤・健康・栄養研究所にて一定期間保存され、そののち当センターに返却もしくは廃棄されます。

[個人情報の取り扱い]

患者様の情報は仮名化され、個人が特定されないように管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用いたしません。

[試料・情報の内容]

情報:年齢、性別、臨床経過、検査結果、治療内容、病理解剖報告書 等

試料:病理標本

[共同研究機関及び研究責任者]

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 難治性疾患研究・開発センター
センター長 木村友則

[研究協力機関及び研究責任者]

大阪母子医療センター 病理診断科 主任部長 竹内 真

[本研究の資金源(利益相反)]

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

[研究の参加、辞退に関して]

本研究は診療に用いられている情報を後から取得する研究のため、個人情報の倫理指針上はインフォームド・コンセントを必要としませんが、ご不明な点がございましたら、研究責任者までお問合せください。
また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 試料・情報が当該研究に用いられ

ることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんや代理人の方に不利益が生じることはありません。

[お問い合わせ先]

大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科
主任部長 小垣 滋豊
電話:06-6692-1201

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 難治性疾患研究・開発センター
リバーストランスレーショナル研究プロジェクト
木村志保子
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8
電話:072-641-9910